

学校での記憶1

明治・大正の卒業記念写真と昭和の学級写真

山科で最初の小学校（東野校）は男子178名、女子77名。各戸の負担と授業料で運営しましたから、子守りや経済的理由などで就学できない児童が多数でした。その後、尋常小学校が義務教育となり、高等小学校も併設されました。戦時色が一段と濃くなった昭和16年、国民学校と改称され、内容も国民科・体操科などと大きく変わりました。戦後、小学校と改称され、新制中学3年までが義務教育となり、山科中学が開校されました。



当時は4年制でした

明治27年度

山科尋常小学校の卒業記念

尋常小学校も4年生まででした。児童は紺（かすり）の着物や羽織袴（はおりはかま）姿で、先生方も和服がほとんどです。先生方は後ろに並び、最前列の子ども達はムシロのような敷物に正座しています。（西野大手先町）

明治 04	MEMO
住民が主体となって勤修校、東野校が開校される	それぞれ後に勤修小学校、山科小学校となる
明治20年	尋常小学校（4年制）、高等小学校（4年制）設立
明治31年	尋常高等小学校の設立 尋常科（4年制）、高等科（2年制）
明治16年	小学校が国民学校になる
明治22年	国民学校が小学校になる 小中9年間の義務教育実施、山科中学校開校

この年から6年制になりました！

明治31年度

山科尋常高等小学校 第1回卒業記念

明治31年、尋常高等小学校が誕生。それまで4年制だった小学校に高等科ができ、6年制の原型となりました。後ろの木造3階建築は講堂。大正4年3月まで健在でした。（西野大手先町）

29-008



先生は2列目に！

大正14年度

山科尋常高等小学校 尋常科の卒業記念

就学率も高くなり、山科校の卒業生もこんなに増えました。木造校舎の前にて撮影。大正時代に入ると先生方は2列目で椅子に座るようになっています。（西野大手先町）



流行していたエプロン！

昭和7年度

山科尋常高等小学校入学式

50名で1クラス、梅・桃・桜・藤・松の5組編成でした。手には日の丸を持っています。右の大写真に写っているエプロンは、晴れ着にもなりましたが、実用的で手縫いができます。当時、流行していました。（西野大手先町）



ただいま勉強中…

昭和17年

山科国民学校 授業中の風景

いっせいに本読み。約50人の児童が木の机をくっつけて、姿勢を正して勉強しています。後ろに立っているのが先生。男子は全員丸坊主でした。当時、上級学年は男女別の組でした。厳しい授業の様子が伝わってきます。（西野大手先町）



21-007



21-023

木造校舎の前で！

昭和17年度

←山科国民学校卒業記念

昭和30年代
山科小学校クラス写真→

左の写真と比べると、十数年のごとですが、組の編成や服装、髪型もずいぶんと違い、時代の流れを感じます。（西野大手先町）



14-002

青空卒業式！

昭和25年度 山科中学校第4回卒業記念



公立小学校の変遷

陸ヶ岡小学校

昭和46年

鏡山小学校

昭和6年

安朱小学校

昭和44年

音羽小学校

昭和14年

大塚小学校

昭和50年

音羽川小学校

昭和55年

東養護学校

昭和51年

百々小学校

昭和49年

山科南小学校

昭和48年

勤修小学校

明治5年

大宅小学校

昭和46年

小野小学校

昭和54年

*年数は開校年 ※→は分校を表す

公立中学校の変遷

安祥寺中学校

昭和48年

花山中学校

昭和38年

音羽中学校

昭和42年

山科中学校

昭和22年

勤修中学校

昭和52年

大宅中学校

昭和62年

*年数は開校年 ※→は分校を表す

懐かしアルバム～暮らし編～